

「第15回経営諮問委員会」の概要

第15回目の委員会は、平成28年9月16日に公表いたしました経営強化計画の履行状況報告書（平成28年6月）について、各委員の皆様から貴重なご意見・ご提言を頂戴いたしました。

1. 日時・場所

平成28年7月28日(木) 15:00～17:20 当行本店

2. 出席者

【経営諮問委員会委員】

児嶋 眞平 京都大学名誉教授、福井大学名誉教授、元福井大学学長

増田 仁視 元福井経済同友会代表幹事、増田公認会計士事務所所長

山本 雅俊 元福井県副知事、元公益財団法人ふくい産業支援センター理事長

(五十音順、敬称略)

3. 当行からの説明要旨

- ・ 経営強化計画の履行状況報告(平成28年6月)
- ・ 前回委員会のご意見に対する回答報告

4. 委員の意見等

(1) 当行が進める事業性評価について

「当行のファンに絞り込んでメイン取引を増やしてはと提案した。今回の内容はこの意見を取り入れており、さらに要注意先に対する融資推進など積極的になっていると感じた。」

「補助金申請支援により取引先がどう改善されたか、実態変化を捉えていくことが必要、また施策である McSS（決算診断書）提案先、福邦クラブ（当行取引先で構成するビジネスポート）会員などとメイン取引先の関係を明確にし、当行の狙いを明確にしてはどうか。」

(2) コンプライアンスの強化について

「不祥事件もなく落ち着いているのは、コンプライアンスの徹底の効果である。現場からの意見や改善提案、その効果など、具体的な数字等に落とし込み表現することで説得力が増すのではないかと。」

(3) 女性の活躍について

「女性の活躍についてはまず責任ある立場での仕事を任せることが必要である。その立場を任せると能力も向上する。これまでの常識は・枠組みは外して考えていく必要がある。」

以上